

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会(第2回) 会議録

日 時	平成 30 年 10 月 23 日 (火) 午後 3 時 20 分から午後 4 時 30 分まで
場 所	グランディエールブクトーカイ 4 階「ワルツ」
出席者 職・氏名	出席委員：10 名（敬称略） 本庶佑、鬼頭宏、佐古伊康、田中一成、徳永宏司、中山健夫、 松田文彦、宮田裕章、宮地良樹、山本敏博 ※宮田委員は web による遠隔参加 欠席委員：3 名（敬称略） 鶴田憲一、望月律子、山本清二 事務局 副知事 吉林章仁 県参与 山口重則 健康福祉部長 池田和久 健康福祉部部長代理 藤原学 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 ほか健康福祉部職員
議 題	1 リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究内容 について 2 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について 3 大学院大学の設置検討に向けた需要調査について
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会委員名簿 資料 2 社会健康医学に関する研究の推進 資料 3 大学院大学の設置に係る基本構想（素案） 資料 4 - 1 大学院大学の設置検討に向けた需要調査 資料 4 - 2 需要調査の集計値（概要） 参考資料 1 - 1 大学院大学への進学意向に関するアンケート調査 参考資料 1 - 2 大学院大学修了者の人材需要に関するアンケート調査 参考資料 1 - 3 需要調査（進学意向）の集計値 参考資料 1 - 4 需要調査（人材需要）の集計値 参考資料 2 社会健康医学系大学院大学の基本構想検討資料 （基本理念・養成する人材像・ポリシー等） 参考資料 3 社会健康医学シンポジウム開催案内 参考資料 4 社会健康医学関連新聞記事

1 審議事項

- (1) リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究内容について
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について
- (3) 大学院大学の設置検討に向けた需要調査について

2 審議内容

山口県参与から、資料2により「社会健康医学に関する研究の推進」について、池田健康福祉部長から、資料3により「大学院大学の設置に係る基本構想（素案）」について、資料4-1により「大学院大学の設置検討に向けた需要調査」について、資料4-2により「需要調査の集計値（概要）」について説明した後、各委員による議論を行った。

- (1) リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究内容について
 - ・ 現在、国民健康保険団体連合会のデータを分析しているが、8年間の経過が分かるデータであり、今後、様々な分析が可能な貴重なデータであると感じている。
 - ・ 保健指導に活用できるアプリ開発についても、市町の保健師の意見も聞きながら進めており、ある程度の見通しは立っていると認識している。
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について
 - ・ 大学院大学の基本理念について、どういった性格の大学院大学にするのか改めて検討し、具体的にやることと、その背後にある根本的な理念を分けて記載した方が良いのではないか。
 - ・ この大学院大学では、静岡県というフィールドを対象として研究すること、医療現場の医師等が働きながら研究できる環境を整備すること、研究成果を県民に還元できる研究を行うことをミッションとすることに特徴がある。こうした点で、他の大学院と差別化を図るべき。
 - ・ アドミッションポリシーのうち「健康寿命の延伸に取り組む研究者」については、大学を卒業後に研究職を目指す方も対象となるよう、幅広く書いた方が良い。
- (3) 大学院大学の設置検討に向けた需要調査について
 - ・ 現時点では、まだ社会健康医学に十分に理解は深まっていないと感じる。シンポジウムの開催や、研究成果を目に見える形で還元することで、医療従事者のモチベーションを高めていく必要がある。
 - ・ 学生の人数も10人程度と少ないのであれば、奨学金を出してバリアを下げることも検討してはどうか。